



手作業での脱穀を体験する児童

10/30

昔の農機具で 脱穀を体験 滝沢小学校（一関）

5年生19人は、総合的な学習の時間を利用して栽培したひとめぼれの稲穂を、千歯こきや足踏み脱穀機など昔ながらの道具を使い、脱穀作業を体験しました。脱穀した米は、感謝の会を開催し、稲作を教えてくださいました方を招待し、一緒に味わう予定です。



体操に挑戦する会員

10/29

リズム体操にチャレンジ JAハートフル花泉支部

5年ぶりととなる全会員研修会を開き、19人が参加しました。JA花泉営農経済センターの佐々木宏美職員の指導で、椅子に座りながら簡単にできる健康ストレッチ体操や、家の光に掲載されたボディリズム体操で心地よい汗をかき、交流を深めました。

10/30

育てた野菜おいしく料理 JA女性部川崎中央支部



木村さん（左から2人目）に料理を学ぶ部員

畑の講習会閉校式と料理講習会を行いました。野菜ソムリエプロの木村千恵美さんの指導で、収穫したネギやキャベツなどを使った料理3品を作りました。部員たちは料理に舌鼓を打ち、「とてもおいしい」「家でも作ってみたい」と喜びの声飛び交いました。



カントリーエレベーターの役割を学ぶ児童

11/11

巨大な施設の役割を学ぶ 厳美小学校（一関）

5年生22人は、JA一関カントリーエレベーターを見学し、収穫されたもみが流通するまでの工程を学びました。阿部架純さんは、「大きいタンクを米でいっぱいにするためには、たくさん面積の田んぼが必要だということが分かった」と話しました。

11/7

メダカ米とてもおいしいね 川崎小学校



メダカ米のおいしさを喜ぶ児童

収穫感謝祭を開き、5年生25人は（農）門崎ファーム（川崎）が生産する「メダカ米」について藤江修組合長の講話を聴くとともに、メダカ米を味わい収穫を喜びました。児童は、「ごはんは軟らかくてつやつやしていた」などと感想を話し、笑顔を見せました。



関係者とともに特産品をPR

11/13

古里の味と香りを 全国へ

一関ふるさと便実行委員会

一関ふるさと便「冬の便」の出発式を行い、ふるさとの味と香りを全国各地に向けて発送しました。一関ふるさと便は、新米や「いわて南牛」の牛肉、曲りネギやリンゴなどの農畜産物13種類を用意しており、12月中旬まで消費者の元へ届けられます。

11/12

地域農業への貢献を祝う

一関地方農林業振興協議会



表彰を受けた一関地方農林業賞の受賞者

令和6年度一関地方農林業振興大会を開き、一関地方の農林業や農村社会の発展に貢献した4組の個人や団体が表彰されました。受賞者による活動成果の発表や、獣害対策をテーマとした記念講演が行われ、農林業者のさらなる経営意欲の向上を図りました。

11/14

日頃の活動を盛大に発表



作品展示を見学する女性部員

令和6年度女性部大会ならびに家の光大会を開き、家の光記事活用の作品展示や料理コンクールなどで日頃の女性部活動を発表しました。記念講演では、観光ボランティア団体「蔵サポーターの会」の昆野洋子会長が、仲間づくりの重要性を説明しました。

11/15

餅料理を堪能豊作を喜ぶ

黄海小学校（藤沢）



おいしい餅に大満足

収穫感謝の会を開きました。5年生が生産したこがねもちを使い全校児童で役割分担をして餅を作り、保護者や地域住民を招待して一緒に味わいました。佐々木伸校長は、「こがねを食べられるありがたみを感じ、次世代に伝えてほしい」と語りました。

11/13

出前授業で食べ比べ体験

千厩高等学校



食べ比べを体験する生徒

生産技術科2年生17人は、お米に関する出前授業を受けました。座学で、JA管内の農業や米の流通などについて学んだ他、生徒が作った「金色の風」と管内産「ひとめぼれ」など3品種を食べ比べ、食感や香り、味の違いなどを確認し、食味評価を体験しました。



加藤忠事務長に目録を手渡す佐藤一則組合長㊦

11/19

実習環境の充実を願って

J A 共済連岩手

地域貢献活動の一環として、県立一関第二高等学校にトラクターやフレールモア、温風機など9種類13台の農業機械を贈りました。総合学科環境・生活系列3年の黄川田美空さんは「今回寄贈された農業機械をさまざまな学習に有効活用したい」と話しました。



出荷基準を確認する生産者

11/14

需要期に向けて意識統一 J A 椎茸部会菌床椎茸専門部

生シイタケ目ぞろえ会を開き、引き合いの強くなる年末に向け、安定出荷と品質の統一を図りました。出荷基準を確認しながら、大きさや開きのばらつき、変形の混入に注意することや、品質を保持するため段ボールでの出荷に統一していくことなどを指導しました。



生産者から活発な意見など出され協議

11/15

畜産振興に向け意見交換

令和6年度畜産事業懇談会を開きました。畜産部門の事業計画と現在の実績報告、経済部門の情勢報告をし、J A や関係機関が管内の酪農、和牛生産、肥育牛、ヘルパーなどの部会代表者から現在抱えている課題や意見要望を聞き、情報交換を行いました。



聴診器を子牛に当て心音を聴く児童

11/21

牛と触れ合い酪農を学ぶ 岩手県牛乳普及協会

酪農出前教室青空コースを赤荻小学校(一関)で開き、5年生42人が牛乳や酪農について学びました。牛乳の飲み比べやバター作りの他、地元酪農家の平間一夫さん(一関)の指導で、搾乳をしたり、子牛の心音を聴くなどして、牛と触れ合う体験をしました。



刺し子に夢中になる部員

11/21

刺し子の美しさを感じて J A 女性部室根中央支部

第3回女性部教室を開きました。岩渕恵子さん(室根)を講師に迎え、刺し子の鍋つかみを作りました。刺し子ならではの4〜5針縫っては、しごく作業に、始めは苦戦しながらも次第にこつをつかみ、きれいな鍋つかみが仕上がると笑顔が広がりました。

11/2(土)

ひらいずみ産業まつり

いわて南牛
サイコロ焼き
おいしいです!



JA平泉青年部の焼き鳥



千厩高生による
「金色の風」PR

JA女性部が
育てた野菜は
いかが?



農家組合芸能大会の華麗な踊り

11/9(土)・10(日)

室根産業まつり



多数並ぶ自慢の農産物

11/2(土)・3(日)

千厩町産業文化祭農業まつり



心のこもった農作物がずらり

11/2(土)・3(日)

藤沢農業まつり



JA女性部による「農の生け花」

感謝を込めて
豊年餅まき



農産物品評会
今年51.5点が出品
されました



品評会では第13区農家
組合が最優秀賞に